

平成 28 年度事業 中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	<input type="checkbox"/> 自主事業コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース		
事業名	ハートフルスポーツの集い		
団体名	特定非営利活動法人スポーツライフ '91 天城		
市担当課名	スポーツ振興課		
総事業費	408,314円	市の負担額	215,000円
<p>① 事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>障がいのある人と健常者、特に高齢者や子供が同じコートで、同じルールで、スポーツを楽しむイベントを通して、三世代の交流を図るとともに、このようなスポーツのあることを市民に周知する。</p>			
<p>② 事業の成果</p> <p>*平成 28 年度申込書 (様式第 2 号-1) に記載した「⑥事業の成果」に対応する 12 月 1 日までの成果を記入してください。また、実施した事業の詳細は「⑤事業実施記録」に記入してください。</p> <p>【短期的成果】</p> <p>② 障害者の誰もがスポーツをできる喜びを味わうことができる。そして、障害者の日常スポーツ活動につながる。➡概ね参加者はスポーツを楽しむことはできた。ただし、日常活動には結びついていない。=倉敷市に貸与できる用具がない。天城の活動に参加したい人はいたが、活動が夜間のため断念された。</p> <p>③ 障害者のスポーツのバリエーションが広がる。➡他のイベントの依頼を受けた。(岡山県障害者スポーツ協会。倉敷支援学校。手をつなぐ育成会。岡山県立倉敷琴浦高等支援学校)</p> <p>④ 障害者が健常者と対等にスポーツすることで、自信を持って活動できる。そのことが生きがいに繋がる。➡成果はあったと思料される。(事業継続の要望が出された。今年度事業への期待が寄せられた。)</p> <p>⑤ 子供が抵抗感なく障害者と向き合うことができる。➡概ね成果はあったと思料される。</p> <p>⑥ 高齢者に優しいスポーツを提供することで、高齢者スポーツのバリエーションが広がり、高齢者スポーツ人口の増加につながる。=元気老人が増加する。➡高齢者団体への PR が不十分。(一般参加者が少なかった。=障害者のスポーツ活動が前面に出過ぎた。)</p> <p>⑦ 高齢者が指導的立場に立って、障害者・子どもとスポーツすることで、高齢者の生きがいとなる。➡参加された高齢者は指導的立場に満足されたと思う。</p> <p>⑧ 三世代交流ができる。また、三世代が技術面では 50 : 50 で交流できる。と同時に、お互いの弱いところをカバーすることで慎の三世代交流が可能となる。➡体現できた。</p> <p>⑨ 昨年度実績より障害者の参加が 20%アップを目指す。また、5 名程度の家庭にいる障害者の参</p>			

加を目指す。(過去2名程度) ➡まずまずの成果あり。

【長期的成果】

- ① 障害者イベントの拡充とスポーツ環境の変化
- ② 障害者スポーツセンターの必要性の認識
- ③ 子供たちが障害者を理解
- ④ 高齢者が自分に応じたスポーツを見出す。
- ⑤ 倉敷市ガス際する障害者のスポーツ・レクリエーションの集いへの発展
- ①～⑤➡いまだ道遠し(課題に記入)

*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。

なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。

60

点

③事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

- ① 事業内容が市民に浸透していない。(PR不足) =対象は障害者・高齢者・こどもの倉敷市民全体を対象とした事業であり、施設を対象とした事業ではない。特にターゲットを家庭にいる障害者・高齢者としておりそこへの情報提供者は民生児童委員であり、スポーツ推進委員であるがその人たちは全く協力を得られなかった。(資質の問題か? はたまた、任命権者か?) =倉敷市の関係部署より依頼する必要あり。➡➡➡この点が解決されないと全市的活動に発展しない。
- ② 倉敷市として用具を貸与できる体制が整わないと単発事業に終わる。
- ③ 本来当事業はスポーツ推進委員が先頭に立つて行う必要があるが、その認識がない。➡障害者のスポーツを推進する体制(組織)づくり。➡➡全市的活動に発展しない。
- ④ 施設にPRする必要があるか? ➡安易にSL'91天城に頼られても困る。
- ⑤ 小学校・中学校の特殊学級にPRできないものか?
- ⑥ 障害者のバリアを取り除く努力を感じる。(双方)
- ⑦ 障害者団体との連携。障害者のスポーツを推進する行政との連携。
- ⑧ 11月に山口市でハートフルスポーツの集いを中心に障害者のスポーツ・レクリエーション活動の講演を依頼されたが、倉敷市では全く興味を示されていない。(福井市は視察に訪れた。)

④事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
カローリング2、スマイルボウリング2、スカットボール2、キャッチボール2 デッキスティックゲーム2、 クロリティー1、 以上6種目にクラブ員2名が付き、参加者のレベルに合わせて試合が楽しめるように指導。 見学に来た施設職員が、用具の貸し出しを希望。 全くできない子供に対し、どうにか楽しめるように工夫をする。	平成28年 7月31日 (日曜日) 13時30分～ 15時30分	くらしき健康福祉 プラザ体育館	【天城】 男性4人 女性2人 【協議会】 男性1人 女性1人 【夏ボラ】 女性5人 計 13名	【障害者】 男性10人 女性5人 【健全者】 男性13人 女性16人 【その他】 5人 (マスコミ2、 県体協1、施設職員1) 計 49名

<p>カローリング2、スマイルボウリング2、スカットボール2、キャッチボール2 クップ1、ラダーゲッター2 シャフルボード1、バウンスボール1 以上8種目。 1日目が障害者の参加が順調だったのでショック！障害者の男性2名は昨年よりの参加者であり、抵抗なくスタッフと試合を楽しむ。女性は16歳でありみんなで楽しくゲームができた。</p>	<p>平成28年 8月7日 (日曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康福祉 プラザ体育館</p>	<p>【天城】 男性4人 女性4人 【協議会】 男性2人 【夏ボラ】 男性1人 女性4人 計 15名</p>	<p>【障害者】 男性2人 女性1人 【健常者】 男性12人 女性8人 【その他】 計 23名</p>
<p>カローリング2、スマイルボウリング1、スカットボール2、キャッチボール2 デッキスティックゲーム1、卓球バレー1 空き缶ボウリング1、ヒューストン1 ストラックアウト(ドッジビー)1 以上9種目 就労支援施設ぼけっとより15名が参加(3年連続=男性13、車いす4)職員8 障害の種類は多様で複数障害者が多く、かなり重度の人もある。これだけの参加者がに加え、種目数も多いので会場が狭くなる。(車いすの場合広さの確保が必要) スタッフと健常者の参加者で補助しながらスポーツを楽しむ。夏ボラの中高生、看護学生にとっては非常に良い機会が提供できた。 ぼけっとは1時間30分で切り上げ、最後にスタッフ全員で障害者に表彰状を授与(毎回、非常に喜ばれる) 子供の障害者コミュニケーションを心配したが、スタッフ参加者全員の協力でないごともなく無事終了。 障害者1人にスタッフ1人が付く体制が取れなければこうしたイベントは成り立たない。(スタッフとしてではなく一般参加者としてクラブ員が参加している=常にクラブよりこうしたイベントになれた15名程度が参加)</p>	<p>平成28年 8月16日 (火曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康福祉 プラザ体育館</p>	<p>【天城】 男性3人 女性4人 【協議会】 男性2人 【夏ボラ】 女性6人 計 15名</p>	<p>【障害者】 男性17人(子供3) 女性8人(子供2) 【健常者】 男性16人(子供2) 女性14人(子供1) 【その他】 3人(看護学生2、市職員1) 計 58名</p>
<p>カローリング1、スマイルボウリング1、スカットボール1、キャッチボール2 デッキスティックゲーム1、 キャッチングザスティック1、 以上6種目 障害のある2人は74歳と17歳であり、ともに参加経験のある人たちなのでボランティアの子供たちを含めいろいろのスポーツを楽しんだ。 ボラの子供たちは各種目を十分理解し、それぞれお気に入りのスポーツを十分楽しんでいた。</p>	<p>平成28年 8月21日 (日曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康福祉 プラザ体育館</p>	<p>【天城】 男性4人 女性4人 【協議会】 男性2人 【夏ボラ】 男性2人 女性4人 計 16名</p>	<p>【障害者】 男性2人 女性0人 【健常者】 男性9人 女性8人 【その他】 1人 計 20名</p>

<p>カローリング2、スマイルボウリング1、スカットボール1、キャッチボール2 デッキスティックゲーム1、 クロリティー1、 以上6種目 夏休みも終わり参加者が減少すると思っていたので、プラザにある支援施設に声をかけていた。障害者6名（車いす4）と職員7名が参加。 障害の程度に応じてできる種目があることを認識していただく。</p> <p>今日はリオデジャネイロパラリンピック開会式当日なので障害者のスポーツに興味を持つ施設関係者・行政関係者が見学に来られることを期待していたが、0! これが倉敷市の障がい者のスポーツに対する認識である。</p>	<p>平成28年 9月8日 (木曜日) 13時30分～ 15時30分</p>	<p>くらしき健康福祉 プラザ体育館</p>	<p>【天城】 男性4人 女性3人 【協議会】 男性2人 【夏ボラ】 8月で終了</p> <p>計 9名</p>	<p>【障害者】 男性4人 女性2人 【健常者】 男性6人 女性10人 【その他】 見学2人（車いすの人）</p> <p>計 24名</p>
<p>カローリング親善交流大会 正式申込は岡山市福田公民館のニュースポーツクラブ員（天城が用具持参で育成＝17・8年前より）3チーム。 当日参加の人は天城の全国大会優勝者をチームに1名加えてチーム編成。 各3試合を行う。優勝は小6の男子、初試合の64歳の女性と天城のベテラン中島操さんのチームでした。準優勝は夏ボラの中学生と天城2名のチームでした。 非常に和やかなムードで試合ができました。 残念なのはハートフルに参加してくれた障害者の方が誰も参加しなかったことです。（PR不足） 来年は早くからカローリングの交流会をPRしながら運営していきたい。 クラブや岡山県カローリング協会から賞品の提供を受けた。（子供4名は参加費500円を賞品という形で返却）</p>	<p>平成28年 9月10日 (日曜日) 12時30分～ 16時30分</p>	<p>くらしき健康福祉 プラザ体育館</p>	<p>【天城】 男性1人 女性1人</p> <p>計 2名</p>	<p>【障害者】 男性0人 女性0人 【健常者】 男性11人 (小学生1、中学生1) 女性19人 (夏ボラの女子中学生2) 【その他】 車いすの2名</p> <p>計 30名</p>

⑤目標の進捗状況 *事業実施前に設定した目標のうち、特に力を入れて取り組んでいる目標を2つまで記入してください。また、その目標の進捗状況をパーセントで記入してください。すでに達成できている場合は100%になります。

<p>① 家庭にいる障害者に参加してほしい。 50% 参加者のうち組織に所属していない人が6名～8名。 最低10名の参加者を期待していた。</p> <p>② 倉敷市内の障害者施設に障害者に適したスポーツ用具の整備 0% 施設から職員を派遣したところ0（ただし、ポケットとプラザの施設を除く） 他に多くの目標を掲げたが、部分的には目標を達成できた点もある。（参加者に限り） しかし、多くの目標は道遠し。 0%</p>
